

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2002-183598
(P2002-183598A)

(43)公開日 平成14年6月28日 (2002.6.28)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	マークト [*] (参考)
G 0 6 F 17/60	3 2 6	G 0 6 F 17/60	3 2 6
	5 0 2		5 0 2
	5 0 6		5 0 6
13/00	5 4 0	13/00	5 4 0 P

審査請求 有 請求項の数11 書面 (全 6 頁)

(21)出願番号 特願2000-404124(P2000-404124)

(22)出願日 平成12年12月12日 (2000.12.12)

(71)出願人 501026570

松原 和夫

東京都多摩市貝取1-52-1 205号

(72)発明者 松原 和夫

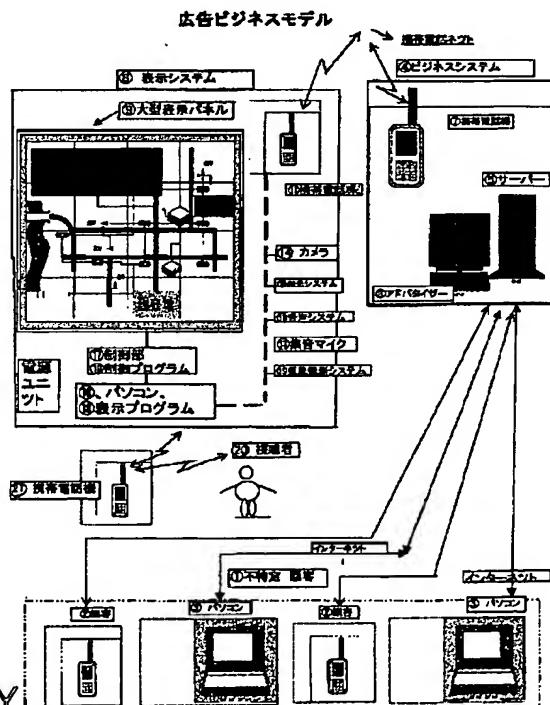
東京都多摩市聖ヶ丘1-8-7

(54)【発明の名称】 広告ビジネスモデル

(57)【要約】

【課題】 インターネットおよび携帯電話ネットを利用して広告情報を配信したり、双方向通信を活用して消費者の動向を把握することと、不特定多数の広告を大量に効率よくかつ格安に行う。

【解決手段】 インターネットを利用した広告ビジネスモデルが寄与できる。すなわち、不特定多数の顧客が利用できるサーバーと表示システムを任意の場所に設置する。広告掲載を希望する顧客は、インターネット上でサーバーに自ら広告情報を作成し配信を行う。広告効果を高める音声や光イルミネーションを付けることもできる。これを携帯電話ネットを介して表示システムに表示させる。一方、広告を表示しながら携帯電話を介して消費者との対話を行って、消費者の動向やニーズを把握する。一つの表示システムには多数の銘柄の広告を多量に扱えるので、効率の高い格安の広告手段を提供する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 不特定多数の顧客の利用を目的として、任意の場所にサーバーと表示システムが個別に設置される。利用顧客自らまたは専業者がインターネットを通じてサーバーに希望する広告・宣伝、商品情報などや、自動車の駐車場、レストラン、劇場などの空き情報、アンケート、イベント情報を、さらには映像、ゲーム、クイズなどを配信する。配信を受けたサーバーは、その情報を携帯電話ネットに乗せて表示システムに配信し、一般大衆に掲示する。これらを見た視聴者は携帯電話機または携帯情報端末を使って、掲示内容に意見を寄せたり、ゲームに参加したり、予約するなどをサーバーと交信できる。利用顧客は寄せられた意見や情報から、消費者の反応やニーズを迅速に把握し、経営に役立たせる。このように広告宣伝手段として、インターネットと携帯電話ネットを利用して、双方向交信を行うことを特長とした広告ビジネスモデル。

【請求項2】 さらには、利用顧客と視聴者が表示されているアンケート、ゲーム、クイズ、などを見ながら、携帯電話機や携帯情報端末を利用して、リアルタイムに会話できることを特長とした請求項1記載の広告ビジネスモデル。

【請求項3】 前記表示システムには、観衆の注目を集め広告効果を高めるために、音声システムや発光システムなどが付加できる。これらは観衆の状況に応じてリアルタイムに制御することも可能である、などを特長とする請求項1および請求項2記載の広告ビジネスモデル。

【請求項4】 前記表示システムには、観客の動向を探るための遠隔操作が可能な集音マイク、カメラ、気象観測システムなどを装備できる。これらのデータはサーバーに取り込まれ、インターネットを介して随時利用できることを特長とする、請求項1および請求項2記載の広告ビジネスモデル。

【請求項5】 サーバーには、視聴者から寄せられたアンケートの回答や予約などを、利用顧客の便に供する分析機能を有する請求項1および請求項2記載の広告ビジネスモデル。

【請求項6】 広告掲載を希望する顧客または専業者は、インターネットを介してサーバーと交信して、表示画面や映像、音声などの作成や編集を行ったり、表示場所、表示期間、表示時間帯および表示回数の指定を行うことができる、ことを特長とする請求項1および請求項2記載の広告ビジネスモデル。

【請求項7】 広告ビジネス事業者（プロバイダー）は、サーバーを介して利用顧客に利用料金および契約内容を提示し承認を得る。料金徴収はクレジットカード決済、銀行振込とし、決済を確認すると契約が成立する。ことを特長とする請求項1および請求項2記載の広告ビジネスモデル。

【請求項8】 表示システムの画面は、幾つかにコマ割りすることもできる。これにより例えば、商品宣伝とゲームなどを多重表示することを可能とした請求項1および請求項2記載の広告ビジネスモデル。

【請求項9】 広告ビジネス事業者は、利用顧客あるいは専業者が作成する表示画面や映像などの作成を支援したり、また、公序良俗などの観点から作成者に適切なアドバイスを行う請求項1および請求項2記載の広告ビジネスモデル。

10 【請求項10】 表示システムとサーバーおよび顧客または専業者のパソコンは、それぞれが独立して存在する。表示システムとサーバーには、双方に携帯電話機が組み込まれ、両者間の交信は、携帯電話ネットが利用される。一方、サーバーと顧客パソコンとの情報交信は、インターネットを利用して行う、ことを特長とする請求項1および請求項2記載の広告ビジネスモデル。

【請求項11】 表示システムとサーバーには、システムの信頼性を高めるために、自己診断プログラムやウイルス排除機能をもたせている。また携帯電話には、第三者からの誤接続や妨害を防ぐために、固有の電話番号と暗号符号をもたせていることを特長とする請求項1および請求項2記載の広告ビジネスモデル。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は広告ビジネスに関するもので、任意の場所に設置された表示システムにインターネットおよび携帯電話ネットを介して広告情報やゲームなどの情報を配信して表示し、視聴者はこれを見て応募したり、予約したりすることを可能とした、インターネットと携帯電話ネットによる双方向交信を特長とした広告ビジネスモデルに関するものである。

【0002】

【従来の技術】街中や駅の周辺に多くみられる看板広告は固定掲示であり、経済や社会変化が激しい現代では、掲示内容の陳腐化が早く、その広告効果が極めて低いと言える。また、広告看板の数は設置場所によって自ずと制限される。

【0003】また、電光表示盤やその他のディスプレイは、多彩な表示が可能したことから、近年導入が高まっているが、これらも広告主側からの一方通行的なものであり、消費者の反応を伺い知ることができない。

【0004】一方、TV放送による広告は、動画やアニメーションなどに音声が巧みに組み込まれ、その広告効果は高いと言えるが、広告料金が極めて高額である。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】あらためて述べるまでもなく、企業や商店にとっては、広告は極めて重要な販売ツールである。しかしながら、現状の広告技術には前記に記す如く、それぞれ大きな課題を抱えている。本発明は、公共の場所で不特定多数の消費者に、目まぐるし

く変る経済や社会の状況に合わせてダイナミックに生きた広告を、消費者の参加を誘ってリアルタイムに提供することによって、消費者への浸透を図り広告効果を高めることと、消費者ニーズを的確に捉えて企業経営に寄与せるもので、従来の課題を解消しようとするものである。

【0006】さらには、地球温暖化防止の一環などから省エネルギー化が全ての分野で求められている重要課題であることは周知の通りであり、新聞折り込みなどの紙広告媒体の廃止による省エネルギー化もこの例外ではない。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は、請求項1に記載したように、一般大衆の集まる任意の場所に、表示システムを設置して、不特定多数の広告主の広告を隨時に表示したり、あるいは請求項8に記載したように、幾つかにコマ割りして複数社の広告を同時に流す手段を用いて、一つの広告看板の利用効率を大幅に高めるものである。

【0008】また、本発明はTV放送の如くダイナミックに映像を表示したり、時間当たりの表示数を多くするなど、取り扱う広告量を飛躍的に増大できるものである。

【0009】また、請求項2に記載したように、視聴者との会話を可能とする手段は、現在の一方通行の広告とは異なって、消費者の動向やニーズを的確に捉え、企業活動に大きく寄与するものである。

【0010】また、請求項3に記載したように、音声や光を効果的に組み合わせて、観衆の注目や関心を抱かせる手法は、広告活動をより効果的にするものである。

【0011】また、請求項4に記載したように、集音マイクやカメラを介して、常に観衆の動向や周辺の状況を知り、これに調和させた広告宣伝を行えば、効果をより高めることができる。

【0012】また、請求項5に記載したように、広告宣伝やゲームなどへ消費者の参加を募って、消費者ニーズの吸い上げを行うことやゲームなどの楽しむ広告手段は、他に類がなく広告宣伝に新展地を開くものである。

【0013】また、請求項6に記載したように、顧客がインターネット上で直接広告を作成できる意義や、専業者が作成中の広告情報を、顧客も参加して作成段階から確認することによって、顧客は自らの意見を反映できるとともに、作成時間の短縮と広告宣伝費の大幅な削減が計れる。また、インターネットの利用は紙媒体を不要とし、資源節約にも寄与するものである。

【0014】さらに、スケジューリングサービスによって、表示場所、表示期間、表示時間、表示回数のスケジュールが瞬時化され、また、これらの更新をリアルタイムに行えることは、状況に応じた適宜な広告場所や時間を選ぶことができ、高い広告効果が期待される。

【0015】また、請求項7に記載したように、広告作成に並行して、利用料金と契約内容を開示するサービスは、透明性や迅速性において利用顧客の信頼を得ることと、クレジットカード決済や銀行振込の電子商取引が、広告ビジネス事業の迅速性と確実性に寄与する。

【0016】また、請求項9に記載したように、広告ビジネス事業者が広告作成者へのサポートサービスを通じて、広告内容に提言を行う手段は、企業が負う社会的責任の遂行や公序良俗の維持に重要な役目を担うものである。

【0017】また、請求項10に記載したように、携帯電話ネットへの暗号符号の組み込みは、サーバーへのウイルス排除機能や、それぞれのシステムの自己診断プログラムとも相まって、第三者からの電話の誤接続や、ソフトウェア妨害からシステムを保護するために必須なものである。

【0018】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施例を図1に基づいて説明する。図1に示す 不特定顧客とは、本発明の広告ビジネスモデルの利用者を言う。利用者である顧客または広告作成の専業者は、自らのインターネット用のパソコンを介して広告ビジネスモデルを利用できる。ビジネスシステムは、本発明の中核となるもので、ビジネス事業者によって、アドバタイザープログラムを組み入れたサーバーが、任意の場所に複数台設置されている。表示システムは、一般大衆がより多く集まり広告効果の高い場所を選定して複数台設置されている。このビジネスシステムと表示システムは、それぞれが独立している。すなわち、ビジネスシステムは、本発明を実施するビジネス事業者（プロバイダー）が運営し、表示システムは、ビジネス事業者もしくは、他の事業者が運営しても良い。

【0019】広告ビジネスモデルの利用者は、利用される顧客自らがパソコンを介してサーバーにアクセスすることによって可能となる。サーバーにインストールされているアドバタイザープログラムが起動して、最初に利用条件への合意署名が求められる。例えば、作成された広告物件の責任帰属や、第三者の著作権や知的財産権および工業所有権に対する遵守事項である。つぎにそれぞれのメニューに入る。

【0020】まづ、設定されているメニューの中から、【作成・編集】メニューのクリックによって、ホームページのイメージで、広告物件の表示画面を作成したり、編集したり、更新したりすることができます。表示情報にはパソコンが扱える文字、イメージ、写真の挿入などのすべてが利用できる。表示画面に調和させたい音楽やナレーションを挿入したり、編集したり、▲12▼発光システムの動作を設定することができる。

【0021】また、【設定】メニューでは、作成された広告物件を希望する表示場所や表示する期間、表示する

時間、表示回数などを指定することができる。指定された条件は、直ちにアドバタイザーのスケジューリング機能によってスケジュールされ、結果が提示される。

顧客はこれの校正や確認サインを行う。

【0022】また、【リアルタイム交信】メニューでは、▲20▼視聴者とのアンケートやゲーム、クイズ、予約などへの応答や、▲11▼音声システムおよび▲12▼発光システムをリアルタイムに制御したり、表示システムに装備されている▲13▼集音マイク、▲14▼カメラ、▲15▼気象観測システムなどのデータを視聴したり、操作することなどができる。

【0023】また、【検索】メニューでは、▲20▼視聴者から寄せられたアンケートの読み出しや、表示システムが設置されている場所などの検索サービスが受けられる。

【0024】それぞれのメニューは、ワンクリック操作による応答と、懇切な説明や案内ヘルプが付いている。

【0025】ビジネスシステムは、独立した複数台のサーバーから構成されている。それぞれのサーバーには、それぞれ複数台の携帯電話機が接続されている。まづ、顧客からのインターネットアクセスに応えて、前記に説明の【作成・編集】、【設定】、【リアルタイム交信】、【検索】のサービスが行われる。作成された広告情報は、サーバーの記憶装置に収納される。

【0026】また、前記サービスの実行と並行して、その広告情報の内容に応じた利用料金の課金計算が行われ、これに基づいた契約書を作成し、顧客に提示する。

料金課金は、表示システムの場所により、利用する画面数および利用時間帯ならびに利用時間によって計算される。料金は、表示システムの設置場所によって、また利用時間帯によってそれぞれ別料金とすることもできる。顧客が契約内容と料金を確認して契約書への署名を行うと、広告ビジネスモデルの契約が成立する。一方、【リアルタイム交信】や【検索】メニューは、その利用時間に応じた料金が別途に課金される。

【0027】また、サーバーの記憶装置に収納されている顧客の広告情報は、アドバタイザーのスケジュール機能に基づいて、携帯電話機と▲16▼携帯電話機が自動交信が行われ、▲10▼パソコンの記憶装置に配信される。

【0028】また、サーバーには、自己診断プログラムが常時稼働させてあり、サーバーシステムの信頼性を診断している。

【0029】表示システムは、大型表示パネルとその▲17▼制御部、▲10▼パソコンおよび▲16▼携帯電話機から構成されている。▲10▼パソコンには、▲18▼表示プログラムがインストールされまた、▲14▼カメラと▲12▼発光システムおよび▲11▼音声システム、▲13▼集音マイク、▲15▼気象観測システムなどでシステム化されている。大型表示パネル

は、プロジェクターやLED(発光ダイオード素子)またはLCD(液晶表示装置)もしくはPDP(プラズマ表示装置)などが用いられる。▲17▼制御部は、大型表示パネルの駆動回路と、表示情報を拡大する▲19▼制御プログラムをもっている。また、表示ドットの大きさは、大型画面向きに工夫されている。

【0030】まづ、▲16▼携帯電話機が受信した広告情報は、一旦▲10▼パソコンの記憶装置に収納される。▲10▼パソコンの制御によって、広告情報が▲17▼制御部に配信される。▲17▼制御部は、この広告情報を▲19▼制御プログラムが大きさを拡大してから、大型表示パネルに転送し表示を行う。

【0031】また、この表示に同調して、▲11▼音声システムや▲12▼発光システムが駆動され、▲20▼視聴者に音楽やナレーションおよび光のイルミネーションが提供される。発光はカラーや強弱コントロールができる。

【0032】また、顧客はサーバーを操作して、▲14▼カメラや▲13▼集音マイクや▲15▼気象観測システムなどを駆動することができ、それらの映像、音声、データをリアルタイムに確認することができる。また、▲14▼カメラや▲13▼集音マイクの指向性を操作することもできる。

【0033】また、表示システムの電源の投入切断は、▲10▼パソコンがサーバーからの制御信号によって行なわれる。

【0034】また、表示システムには、前記サーバーと同様に自己診断プログラムが常時パトロールしており、表示システムの信頼性を診断している。

【0035】▲20▼視聴者がもつ▲21▼携帯電話機または携帯情報端末からの応答は、携帯電話ネットを介して、サーバーに伝えられ、顧客はサーバーをアクセスすることによって通信が可能である。もちろん▲20▼視聴者の▲21▼携帯電話機と顧客の携帯電話機による直接会話も可能である。

【0036】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、不特定多数の広告宣伝を一つの表示パネルを用いて効率よく、また多量に行えることとなる。特に、広告の表示画面をダイナミックにまた、自由に更新して常に新しい商品情報が伝えられることや、音声や発光などを効果的に活用したり、さらには視聴者と直接の対話をあって彼らの動向やニーズを的確に捉えることなどは広告のやり方に新天地をもたらすものである。また、顧客が直接に広告情報を作成できることや本発明全体への投資額と運営経費は、TV放送などに比しはるかに低く、顧客に格安の広告手段を提供することができる。

【0037】

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による広告ビジネスシステムの一例を示

すブロック図である。

【符号の説明】

1. 不特定顧客
2. 顧客
3. パソコン
4. ビジネスシステム
5. サーバー
6. アドバタイザー
7. 携帯電話機
8. 表示システム
9. 大型表示パネル
10. ▲10▼パソコン

11. ▲11▼音声システム
12. ▲12▼発光システム
13. ▲13▼集音マイク
14. ▲14▼カメラ
15. ▲15▼気象観測システム
16. ▲16▼携帯電話機
17. ▲17▼制御部
18. ▲18▼表示プログラム
19. ▲19▼制御プログラム
20. ▲20▼視聴者
21. ▲21▼携帯電話機

【図1】

